

議会だより

# じょうわ

2013.7.22

No. **158**

山梨県昭和町議会  
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

わ~い!  
楽しいね!

—げんき夢保育園—

活発な委員会活動 ②

新たな委員会構成 ⑤

議員提出議案 ⑦

一般質問 ここが聞きたい ⑩

地域住民と議員の対話集会 井戸端会議 ⑬

追跡 あの質問はどうなった ⑱

# 員会活動!!

## 教育厚生 常任委員会

児童資料コーナー



ユニークな本の展示



### 山梨県立図書館行政視察

(4月24日)

旧教育厚生常任委員会をはじめとする12名の議員で山梨県立図書館を視察しました。

閲覧エリアから児童資料コーナー、多目的ホールなど、利用者の目的に合わせたコーナーが設置されていて快適な空間でした。

貸出管理方法や読書サービスの充実、また阿刀田館長の歴史にもふれることができ、実のある視察研修となりました。

#### 阿刀田館長プロフィール

- ・作家、小説家
- ・昭和54年短編集「ナポレオン狂」で第81回直木賞受賞
- ・平成24年4月より館長就任

## 総務 常任委員会

### 甲府市議会一般質問傍聴と新庁舎視察 (6月17日)

総務常任委員会をはじめとした、13名の議員で甲府市新庁舎を訪ねました。まず、市議会一般質問を傍聴した後、庁舎内を視察しました。役所のイメージとは離れた白を基調とした明るく開放感のある建物で、利用者にとっても親切的な庁舎でした。

災害対策に力を入れた設計で、地震被害の軽減を考慮した免震建物や、災害時には一時物資保管、一時避難場所としても活用できる駐車場など、安心・安全な環境設備でした。



開放感のある窓口



# 活発な委

## 議会運営委員会

### 福岡県宇美町議会 行政視察受け入れ(5月21日)

「議会活性化について」をテーマに、宇美町議会と研修を行いました。山梨学院大学との連携にかかわる背景や議会基本条例など、始めたきっかけから現在に至るまでを話しました。

議会改革は日々進んでおり、何事にも新しいことに挑戦し、改革・変革していこうと互いに意識づけられた日となりました。宇美町議会の皆さま、ありがとうございました。



パワーポイントを使用した研修

## 各種研修会

### 山梨学院大学との勉強会 (6月27日)



平成25年度第1回目となる勉強会は、外川伸一教授による「教育委員会制度をめぐる諸問題」について行われました。

今年度も計8回の研修会を予定しています。地方自治から文化、スポーツと幅広いテーマについて勉強していきます。

### リニアに関する研修会 (6月25日)



総務常任委員会による提案で、リニアに関する研修会を行いました。

講師として2040プロジェクトリーダー進藤哲雄氏を招き「リニア中央新幹線開通を見据えたまちづくり」について研修しました。

# 第1回臨時議会

昭和町臨時議会が5月2日から7日まで開催され、議会議長が決定しました。

議長より各常任委員会・特別委員会委員が選任され、それぞれの正副委員長が決まりました。また、各組合議会議員・連合議会議員の選出も行い、新体制がスタートしました。

ほか、町長から専決処分の承認について3件が提出され、賛成多数で承認、可決しました。

## 専決処分の承認

・平成24年度一般会計補正予算（第6号）

年度末の税の確定により、財政調整基金へ4、117万円を積み立て、総額72億6、742万円とするもの。

・昭和町税条例の改正  
地方税法の一部変更に伴う改正。

主な内容：復興支援のため、震災地区で町長が指定する区域の固定資産税等の課税免除を1年延長とすることなど。  
全員賛成で可決

・国民健康保険条例の改正

2人世帯で1人が国保医療

から後期高齢者医療に移行、

1人が国保医療のまま（特定

世帯）となるとき5年間、世

帯別平等割額を半分にしてい

たものが、特定世帯に加えた

特定継続世帯（5年以上8年

以下）についても、世帯別平

等割額を1/4に減額するとい

うもの。

賛成14・反対1（深澤平助議員）

# 第2回臨時議会

7月4日に第2回臨時議会が開催されました。町長から平成25年度一般会計補正予算が提出され、全員賛成で可決しました。

## 主な内容

予定納税（法人税割）、還付金等として1億1、500万円増額補正するもの。

## 用語解説

### 予定納税

その年の所得税額を前年度の納税額を基に推定し、前もって分割納付する制度。



釜無工業団地航空写真

# 新たな委員会構成



副議長 樋口敏夫



議長 萩原 馨



石原高明 委員

林 和仁 委員

河田あけみ 委員

塚原将司 委員長

野中敏美 副委員長

## 総務常任委員会



福島正明 委員

三井 猛 委員

中澤康夫 委員

遠藤辰男 委員長

河住保茂 副委員長

## 産業土木常任委員会



深澤克男 委員

深澤平助 委員

樋口敏夫 委員

長谷川幸廣 委員長

田中博愛 副委員長

## 教育厚生常任委員会

- |          |         |         |         |
|----------|---------|---------|---------|
| ・ 林 和仁   | ・ 萩原 馨  | ・ 石原 高明 | ・ 河田あけみ |
| ・ 深澤 平助  | ・ 三井 猛  | ・ 遠藤 辰男 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 塚原 将司  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 樋口 敏夫  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 長谷川 幸廣 | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 田中 博愛  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 中澤 康夫  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 深澤 克男  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 深澤 平助  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 福島 正明  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |
| ・ 福島 正明  | ・ 野中 敏美 | ・ 河住 保茂 | ・ 河住 保茂 |

## 平成25年度一般会計補正予算

# 災害に備え 吊り天井撤去

### 一般会計 賛成多数で可決（賛成14 / 反対1）

深澤平助議員より重度心身障害者医療費助成事業の見直しについて反対討論がありました。

一般会計は交付金等を財源とし、2,845万円を増額し、総額71億9,745万円としました。また協働政策評価の中でも取り上げられていた、敬老祝い金事業等では1,148万円を減額補正としました。

### 主な使いみち

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| ・西条小学校屋内運動場天井改修工事費 | 2,152万円 |
| ・風疹予防ワクチン接種費用助成費   | 286万円   |
| ・沼公園整備改修工事費        | 536万円   |
| ・青年就農給付事業費         | 150万円   |
| ・農業振興地域整備計画関係経費    | 481万円   |



西条小学校屋内運動場

### 特別会計補正予算 全員賛成で可決

- ・下水道事業特別会計  
補正額として66万円を増額し、総額10億6,934万円としました。

## 6月議会で 決まったこと

平成25年6月定例会は、6月11日から14日までの会期4日間で開かれました。町長から追加案件も含め、条例関係3件、町道路線廃止・認定2件、平成25年度一般会計および特別会計補正予算2件、人事案件1件の合計8件が提出され、議決しました。

また議員提出議案を追加案件として審議し、可決しました。一般質問では7人の議員が11件について活発な質問・意見を展開しました。

## 条例の改正

- ・国民健康保険税条例  
国民健康保険税の所得割率が上がるといふもの。  
賛成14、反対1で可決  
(深澤平助議員)

- ・敬老祝い金等支給条例  
節目のみに改定。  
全員賛成で可決

## 町道路線の廃止・変更

- 廃止  
玉川団地西、甲斐市と昭和町の境の道路(町道9号線)が甲斐市管轄の道路となるもの。

- 認定  
町道600号線、719号線、725号線を認定するもの。  
全員賛成で可決

## 条例の制定

- ・町職員給与の臨時特例に関する条例  
国の法律に基づき、地方公共団体に対する給与の減額措置が要請されたことに伴う協力姿勢のもとで制定した。実施期間は平成25年7月～平成26年3月までの間とする。

特別職  
(町長・副町長・教育長)  
月給一律8%減額  
正職員  
月給一律2・2%減額  
(賛成14、反対1(深澤平助議員))

## 議員提出議案第1号

- ・議会議員の議員報酬の臨時特例に関する条例  
提案趣旨  
町財政において東日本大震災を契機に防災・減災事業に取り組むとともに、地域経済の活性化を図っている中、議員自らも不況下の町民の皆さまの痛みを分かち合うため制定した。

議員全員  
月報酬一律3%減額。  
実施期間は平成25年7月～平成26年3月までの間とする。  
(賛成14、反対1(深澤平助議員))



提案説明を行う塚原総務常任委員長

## 人事

- ・固定資産評価審査委員の選任



再任 杉浦 精さん  
(西条新田区)

全員賛成で同意

- ・人権擁護委員の法務大臣への推薦



永井清司さん  
(河東中島区)

全員賛成で同意

## 総務常任委員会

石原議員 今年8月に運用される「特別警報」は、住民への伝達が義務化となる。災害時における住民への周知方法や両工業団地との連携は。

企画財政課長 防災行政無線、町HP(しょうわ安全・安心マップ)から携帯へのメールサービス、広報車や消防団の巡回等で情報を周知し、避難所開設準備を進めていく。また工業会と協議していく中で連携を図っていきたい。

石原議員 男女共同参画において、平成29年度までに地区役員として、女性の登用率を全体の8.3%を占めるよう目標を掲げているが、町としてはどのように対応しているのか。



浄水器の実演  
(昨年防災訓練)

決めの基となる地区選考委員会に女性を入れ、男女に関係なく適任者を登用していただくよう、区長会等でお願ひしていく。河住議員 今夏の防災訓練はどのように考えているのか。

企画財政課長 7月の区長会で、自主防災組織の活用手引きに基づき、話し合う予定。案としては組となり3軒くらいを班とした訓練を実施したいと考えている。また、消防団の協力を仰ぎながら、実践的な防災訓練とした

## 教育厚生常任委員会

三井議員 国民健康保険税の所得割を改正したが、世帯で納める最高限度額はどうなのか。

町民窓口課長 地方税法で77万円と決まっております。3年前に増額されてから変わっていない。

深澤(平)議員 風疹ワクチン接種費用緊急助成事業の開始時期は。

いきいき健康課長 平成25年4月1日にさかのぼり実施。支給は償還払い方式。

深澤(克)議員 県支出金の実践的防災教育推進事業委託金を取り消されたが、重要な事業でもあるので、町費で実施する考えはないか。

学校教育課長 今回は2校に対する委託費なので取りやめたが、今後4校

を対象に検討したい。

河田議員 押原小学校を指定校として、コミュニティースクール推進事業を2年間にわたり行い、学校運営協議会をつくることのようなが、学校評

議員とのかかわりは。学校教育課長 今回の学校運営協議会制度は、一定の権限を有する合議制の機関であり、その役割は異なる。



授業風景

## 産業土木常任委員会

河住議員 町道廃止の件について、具体的な経緯は。

建設課長 旧竜王町の時に、竜王町道路として認定されていた道路が、町でも町道として認定されていた。昨年甲斐市と協議し、町道廃止となった。

三井議員 今年度予算にある「農業振興地域整備計画」とは。

環境経済課長 昭和町都市計画マスタープランとの整合を図り、農



委員会の様子

振農用地の計画を見直していくための計画。

福島議員 公園管理はどのように行われているのか。

都市整備課長 シルバー人材センターに委託し、管理をしている。

職員も定期的に見回りをしている。修繕等の必要な箇所については、業者へ修繕依頼をしている。



きれいに管理されているポケットガーデン

## 水源対策特別委員会

地下水採取の適正化に関する条例に基づく届出についての報告。また、甲府市上下水道局取水水量の変動について、平成24年度昭和町地下水測定値についての報告。

## 地方分権対策特別委員会

協働政策評価シート冊子に基づき  
検討協議について意見交換を行う

人間ドックの実施に対する助成

特定健診の負担金

若年健診

各種上乘せ健診

がん検診

がん検診推進事業（無料クーポン）

住民健診については、受益者負担金を取るべきという意見や、受診率向上のため現状のまま（無料）で良いとのさまざまな意見が出た。

結論としては、どれもしばらくの間は現状維持となった。助成については、費用対効果や目標達成数値を確認し検証していく。

# ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。

## Q 少子化における 子育て環境整備は

## A 少子化時代に 対応する施策を推進



いしはら たかあき  
石原 高明 議員

### 一般質問

#### 石原

町長は施政方針で「子育て環境の整備」と「学校教育と生涯学習」を重点項目としている。

国立社会保障・人口問題研究所の公表によると、国の総人口は30年後には現在より2千万人減り、0歳～14歳の割合は13%から10%に、65歳以上の高齢者は23%から36%と推計している。昭和町では、0歳～14歳は16・4%から11・7%、65歳以上は、17%から33・6%と子どもはゆるやかに減ることが見込まれる。

人口構造の変化による町政運営の影響を見据え、長期的展望の中で、少子化における子育て環境について、町政のあり方をどのように考えるか、町長の基本的な姿勢は。

#### 町長

第6次総合計画基本構想の策定時には、政策的な要因を加味した人口推計を行い、各種施策に活かしていきたいと考えている。

「小さくても豊かなまちづくり」を政策の柱に位置付け、町の宝でもある子どもたちとその

家族が、心豊かな生活を送るための子育て支援策や、環境整備を重点施策として事業を実施している。

本年度は、さらに「幼稚園就園奨励費の対象年齢の拡大」や「風疹ワクチンの助成」等施策の拡大充実を図り、子育てしやすい町・子どもを想うまちづくり等、子育ての環境

整備に努める。

また、今後の国や県の子育てに関する制度改革を踏まえ、町民の子育てに対するニーズを把握し、ソフト・ハード面とも少子化に対応する具体的な施策を推進する。

#### 再質問

#### 石原

策定が義務付けられた「子ども・子育て支援計画」を策定するにあたり、仮称「子ども子育て会議」の設置を予定しているが、具体的内容は。

#### 福祉課長

現在、課内で子育て会議の詳細を検討中だが、子育て等に関係する団体代表や専門家など十数名を予定している。

なお、会議の設置時期については、条例等の整備を行ったうえで年内を予定している。



押原公園

# 施策を問う

## 一般質問



議員 林 和仁

### Q 子どものいじめ相談窓口 新設と専門員の常駐を

新設と専門員の常駐を

### A 国・県・町の相談窓口を 周知啓発する

林

子どものいじめに対  
する取り組みが行わ  
れているが、依然として深刻  
な社会問題だ。岐阜県可児市  
では「子どものいじめの防止  
に関する条例」を制定し、「い  
じめ防止専門委員会」を設置  
するなど全国的に注目されて  
おり、委員会の存在で抑止効

果も期待できるといつ。

いじめは犯罪であることを  
認識し、問題が解決できるよ  
う支援するため、行政や福祉  
関係機関との連携強化を図る  
必要がある。子どものいじめ  
に関する専用の相談窓口を新  
設し、いじめに対応できる専  
門の相談員の常駐が必要で啓  
発活動も大切だが、町の考えは、

教育長

子どもの心や体  
に深刻な被害を  
もたらしいじめは、子どもの  
権利を侵害する。次代を担う  
子どもが健やかに成長できる  
環境の実現は、社会全体で取  
り組む重要な課題と言える。  
各小中学校では、現在のところ  
重大な事案報告は受けて



思い出に残る学校生活に

いない。国や県はいじめ問題  
に悩む子どもや保護者がいつ  
でも相談できるよう、「24時  
間いじめ相談ダイヤル」を開  
設し、専門の相談員が対応し  
ている。町では昨年度より新  
たに教育指導監を配置し、教  
育相談の充実を図り、学校で  
は「悩み相談ボックス」など

の設置、年に何回かの子ども  
生活アンケートを実施し、い  
じめの早期発見・早期対応に  
努めている。重大事案のいじ  
めは警察に通報して協力を得  
ることとしている。

町単独のいじめに関する専  
用の相談窓口の新設や、専門  
相談員の常駐は考えていないが、  
国・県・町の体制を十分活用  
できるよう周知・啓発を進め、  
学校や子ども・保護者に再度  
周知していきたい。

再質問

林

家庭環境の違いで、  
保護者と学校とのト  
ラブルで教師が鬱や退職を迫  
られている事例があるが、町  
の対策は。

教育長

教員本人のメン  
タルヘルス、自  
己管理の努力や早期治療を促し、  
学校では校長を中心に相談体  
制の充実や、業務改善・良好  
な職場づくりを目指すよう指  
導している。

## Q 町主導でAED設置を

# A コンビニと設置協定締結を検討



深澤 克男 議員

### 深澤

心臓突然死の原因に、心室細動がある。いかに早く救命処置を行うかが生死を分ける。多くの人が心肺停止時にAEDが有効なことを知っているが、どこに設置されているか、ほとんどの人は知らない。

町内では町の施設に10カ所(財)日本救急医療財団HPに公開された施設が21カ所あるが、開設時間内や営業時間内での使用がほとんどだ。24時間開店しているコンビニオーナーと設置協定を結ぶなど、町主導で設置箇所を増やす考えはないか。

### 町長

心室細動時に有効な措置がAEDによる電気ショックといわれ、心停止者の救命率を上げることが期待できるが、心停止の原因によっては心臓マツサージ等の応急処置が必要となる。AED設置場所は町ホームページや、昨年7月の広報誌でも町民に周知した。今後はコンビニチェーン本部や店舗代表者と協議し、財政状況を見ながら、設置協定締結を前向きに検討したい。

### Q 自主防災組織活動の手引きの実践は

### A 町の指導と手引活用を周知する

### 深澤

地域防災計画では、町と各地区自主防災会は「昭和町自主防災組織活動の手引き」に基づき、各地区の組で「班」を作り、隣近所で助け合う体制づくりと訓練で、災害時の被害想定を最小限に抑えることが必要だ。

### 町長

地域防災計画の見直しを機に、「自主防災組織活動の手引き」で示されている行動を実践できるように、町が指導・推進をどう進めるか問う。

地域防災計画では町の指導として、自主防災組織活動の手引き活用の周知促進を図るとしている。

この手引きでは、防災行動の基本単位を、身近な数軒の班単位で実施できる協力体制をつくることとしており、災害時にはこの班単位での行動が大切なこととなる。

また、手引きについては、各地区や各組に改めて配布したいと考えている。区長会において、改めて自主防災組織の活動内容を説明したい。また各地区の役員会でも手引きを参考に話し合ってもらうなど、防災教育の一助としてほしい。町としては、この手引きを生かした実践的な訓練ができるよう指導を行い、自主防災組織の充実強化を進めたい。



身近で便利な場所に

## Q 風疹流行に対策を

A 20～40代に

### 接種費用助成



かわだ 河田あけみ 議員

**河田** 風疹は急性の発疹性感染症で、咳や会話で飛び散った風疹ウイルスで感染し、母子感染による先天性風疹症候群の治療には大きな負担がかかる。対策には風疹ワクチン助成が必要だが、町の考えは。

### 町長

県内の感染者は12人（平成25年1月～5月末）で、風疹の流行は見られていないが、全国的に増加傾向にあること、患者の9割が成人で男性が女性の3・5倍、20～40歳の男性が多いため、接種費用の助成を予算計上した。補助対象は20～40歳の7、313人で、50代以上の方々は免疫ができていないと思われる、対象としていない。

## Q 公園の整備計画は

### A 巡回や状況確認で維持管理

**河田** 町内の公園は46カ所を除き町管理は44カ所。公園のトイレには清掃用具等が整っており、地元や管理者による清掃でマナー良く使われている。



傷みが目立つ遊具

44カ所すべての公園を見た結果、遊具の安全性は点検されているが、塗装やベンチ等の傷みが見受けられる。釜無工業団地公園内の老朽化が目立つトイレ等の整備も含め、遊具等の点検整備の予定を聞きたい。

### 町長

押原公園は指定管理者が、国母公園は公園管理事務所で管理しており、他の44の公園を町で管理している。トイレは年間100日ほどを維持管理し、公園内のごみ収集や園内清掃も随時行っている。遊具の点検は専門業者が年1回点検し、5月に依頼した。また、月1回職員が各公園を巡回し、破損等の状況確認と維持管理に努めている。釜無工業団地公園のトイレ整備も含め、地域と行政が協力しながら公園の環境整備を図っていく。

## Q 犬にも住民票を

## A 登録や予防注射を強化推進する



かわすみ やすしげ  
河住 保茂 議員

**河住** 狂犬病予防法で、犬の所有者は登録申請と鑑札交付が義務付けられているが、多くの犬が登録されないまま、予防接種も受けず飼われていることもあると思う。そこで、ペットは家族の一員であるという飼い主の心を大切に、犬の住民票を発行し、登録向上に結び付ける考えはないか。

### 町長

町には犬の登録台帳があり、犬の登録と狂犬病予防注射は毎年3月に広報に掲載し、さらに登録している飼い主に通知するなど、一元的に管理を行っている。ペットショップで購入する際も、登録と予防注射の必要性を周知していただいている。犬の住民票作成は考えていないが、犬の登録や予防注射に関する施策や管理方法を強化推進していきたい。

### Q 朝ごはん条例の制定は

### A まず食育計画を推進する

**河住** 食生活まで行政が介入するのかわという批判もあるが、個人問題にとどまらず、行政面でも住民の保険国保問題とも関連する。条例に強制力はないが、多くの住民が趣旨に賛同するならば、健康づくりに大きく貢献するのは間違いない。食生活改善を目的に、理念を掲げた条例制定を行う考えはないか。

### 町長

本年4月に第1次昭和町食育推進計画を策定し、教育・産業・健康の分野での取り組みをスタートし、その中で小中学生の朝食欠食率0%を目標としている。一人一人が自らの健康実現のため、継続的に規則正しい食生活を送るよう、自らの意



ペットも大事な家族

志で努めることが健康の第一歩と考えており、行政の押し付けでなく、食育計画を推進する中で、町民から自発的な声が上がるときに、条例制定を検討するのが、効果的な推進につながるかと考えている。

# Q 次世代火力発電所誘致と町の対応は

## A 慎重に協議したい



たなか ひろよし  
田中 博愛 議員

**田中** 新聞記事によれば、県では燃料電池を活用し、電力の安定供給を目指すとしている。大地震発生時に電力供給が寸断されるリスクを減らし、地産地消の安定供給体制構築を目的に、新産業分野の創出にもつなげたい考えだ。

過去には、国母工業団地に企業を誘致し、生産ピーク時に大量の地下水を使つたため町内の自噴井戸が枯渇する事態となり、水量の調整をした経緯がある。

県の計画を評価する中、誘致場所周辺地下水の安心・安全対策として、県の計画の検証と適切な対応を望みたい。県の示した次世代発電所誘致に対する、町の対応は。

**町長** 県は平成24年12月に条例を施行し、条例には地下水と水源地域の保全に関し基本理念を定め、県・事業者・土地所有者等の責務と県民の役割を明らかにし、健全な水循環の維持を目的とする記載されている。昭和町でも、地下水採取の適正化に関する条例を平成19年度より施行し、また地下水位変動測定を毎月行い、本年度より1カ所増設して町内4カ所の観測を行っている。

次世代火力発電所には、新聞記事によれば大量の水が必要になるが、県・町の条例の

主旨をかんがみ、県でも健全な水循環や、地下水資源の保護に努めていくものと考えている。

今後、この建設計画が具体的に

な水循環や、地下水資源の保護に努めていくものと考えている。今後、この建設計画が具体的に

な水循環や、地下水資源の保護に努めていくものと考えている。

### (町の責務)

第4条 町長は、地下水に関し必要な調査を行い、審議会（昭和町環境審議会条例（平成15年昭和町条例第19号）に規定する環境審議会。以下同じ。）の意見を聞いて地下水利用計画を定めるものとする。

2 町長は、地下水利用計画に基づき、地下水保護のための施策を実施するとともに、自ら地下水を利用する場合には、率先してその適正化に努めなければならない。

地下水採取の適正化に関する条例

# Q 特定健診計画の 充実強化は

## A 管理栄養士配置し 体制強化



ふかさわ へいすけ 深澤 平助 議員

**深澤** 町策定の第2期特定健診実施計画では、重要性和新しい取り組みを強調し、平成29年度には受診率48%を60%に引き上げるとある。疾病の早期発見・治療や生活習慣の見直しは、医療費に大きく影響する。その上で、認知症対策の具体化が必要では。

予防ワクチンの接種等からなる拡充は、担当職員の増員や態勢強化の必要性は、以上3点について町の考えを問う。

### 町長

認知症は脳を活性化するライフスタイルも大切で、積極的に人と交流し、生涯続けられる趣味と仲間を持つなど、個々の努力と地域全体の環境づくりも重要だ。包括支援センターを中心に「認知症サポーター事業」を、今後拡大していきたい。

町民の死因として肺炎が多いことから、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種を、町独自の施策「健康増進計画」にも掲げ、接種費用の一部助成を行う。平成26年度、管理栄養士の配置計画で体制強化し、健康寿命の延伸を一層進めていきたい。

# Q 介護保険制度改悪に 町の対策は

## A 事業充実に具体的 な準備を進める

**深澤** 政府が行うとしてい  
る介護要支援1と2  
の保険からの除外や、年金支  
給年齢の68歳から70歳の延期  
風邪薬や湿布薬など国保から  
の除外、要介護3未満の介護  
サービスの保険外など、社会  
保障改悪の第一歩だ。  
厚労省の方針は市町村にお  
るされていないが、町はこの

問題を真剣に検討し、今から対策を立てることが必要だ。町の考えは。

### 町長

町では健康寿命の延  
伸を念頭に、保険給  
付費の抑制を兼ね、予防事業  
に重点を置いている。制度が  
改正された場合、保険給付費  
の減少が見込まれる一方、介  
護保険地域支援事業の予防事  
業の対象や事業の充実を図る  
必要がある。関係各課と連携  
を図り、今後の動向を注視し、  
具体的な検討と準備を進めて  
いきたい。



安心した生活をおくるために



## 地域住民と議員の対話集会

# 井戸端会議

開かれた議会を目指し、地域ごとの住民の悩みや声を聴き、議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指すのが町議会の役割です。

井戸端会議で出された意見・要望は結果報告書として区長に提出します。すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒にになって課題解決に知恵を絞っていきます。(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

## 紙漕阿原区(第1回)

6月28日 紙漕阿原区公会堂

出席者 区民 29人  
参加議員 教育厚生常任委員会

長谷川幸廣 田中博愛  
深澤平助 樋口敏夫  
深澤克男  
萩原 馨議長

### おもな意見・要望と議会の対応

Q 敬老祝い金を削減した理由はなにか。

A 町の考えの中で「健康寿命」を伸ばすための施策として、肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業等に展開するため削減した。

Q 押原中学校校庭にある照明だが、ダイヤモンドの明かりの位置が変わってきている。フライの時に明かりとちようど重なって危険であるし、プレーの妨げになっている。照明の位置を変えてもらいたい。

A 昨年、体育施設運営委員会でも要望として意見を出し、ライトの調整やホームベースの位置を変えてみるなど対応を図ったが、現状改善できていない。町でも対応策等検討しているとのことだ。

Q 区民が増えているとのことだ、



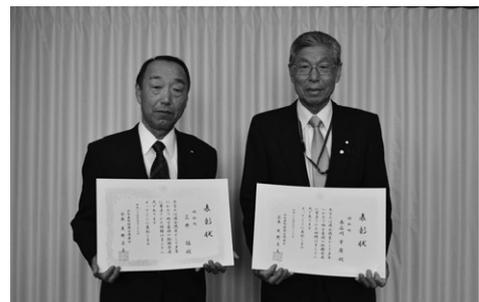
組に入る方が少ない。町で組加入に対し推奨するなど、何か方策はないか。

A 共働き世帯が増え、隣近所の関係が希薄化しているなど、社会環境が変化している中、複雑で難しい問題だが、地域の魅力づくりや近所間の関係づくりが必要だと思ふ。地域で協力体制を作るとともに、議会としても働きかけたい。

## 自治功労者表彰受賞!

平成25年5月23日、県町村議会議長会が行われました。

そこで議会議員10年以上在職者として、長谷川幸廣議員(写真右)と三井猛議員(写真左)が表彰されました。



# 追跡



## あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



### 補聴器の補助制度の創設

(平成23年6月議会 質問者：河住保茂議員)

**問** 身体障害者手帳を取得していない軽度・中度難聴者は、自費で補聴器を購入する必要がある。県では新生児難聴検査の実施率が90%を超えているが、町では対象者調査と補助制度の創設は考えないか。

**答** 本町では、3カ月・6カ月・1歳半検診等で聴覚チェックを行っている。補助制度導入は県の動向をみる中で方向性を出したい。

その後

平成25年4月、軽度・中度の難聴で身体障害者手帳を取得できない18歳未満(町内在住者)の児童に対し、購入(修理)費用を助成するとして「難聴児補聴器購入費助成金交付要綱」を制定した。



### 非常災害用井戸の協定

(平成24年3月議会 質問者：林 和仁議員)

**問** 災害時に長期間ライフラインが使用できない場合、既存の井戸を「非常災害用井戸」として、飲料水や生活用水として確保する必要がある。井戸設置者と非常災害用井戸として使用協定を結ぶ考えはないか。

**答** 飲料水として小学校に整備された、耐震性貯水槽や各地区の貯水槽等があるが、生活用水としての確保も必要になるため、状況把握しながら協定の締結をしていきたい。

その後

昨年12月以降、災害時に利用できる井戸として既存井戸設置者と協定を結ぶ。協定締結件数は37件。(6月現在)



耐震性貯水槽(常永小)

# 議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に  
図書カードをお送りいたします。

**ヒント** 議会だより(158号)を読んでください

《応募方法》  
はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入  
してください。FAXやメールも受け付けます。  
議会への要望・意見等ありましたら、お受けします。

《あて先》  
〒409-3880 昭和町押越542-2  
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛  
FAX : 055-275-5250  
メール : gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp  
《しめきり》  
8月末日 消印有効



空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 総務常任委員会を主とした 市議会一般質問傍聴・庁舎見学。
- 2 6月定例会で今年度予算総額 億9,745万円となる。
- 3 今年度第1回目の井戸端会議、 地区で開催。

前回の  
お葉書で こんなご意見を  
いただきました!

議会クイズが載っているのを  
隔々隔々議会だよりを  
読む様になり、昭和町が事ごとく  
わかりました。

公共施設での太陽光発電の設置は  
大変すばらしい取組みだと思います。  
一般家庭にも普及させるためにも、  
補助金を出してもらいたい。

議会だよりに掲載文中の特定の用語に  
ついて「用語解説」~~※~~として説明  
されています。157号中の「タブレット端末」  
については放送等のマスキングにはあつた  
場(7時前)が良く分かりませんでした。お詫  
の解説にお目から鱈です。これからも「解説  
件」をお願いします。(特に片仮名混じりの用語)

昭和町で生まれ  
育ち、ここから  
住みたい町

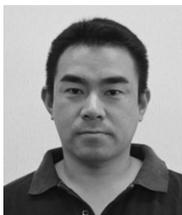
157号クイズの答え  
太陽光 4 6,900

## 議会モニター通信



渡邊実千代さん

一般質問の傍聴見  
学者が少ないこと  
を残念に思った。  
多くの方が気軽に  
傍聴できるように  
改善されれば、更  
に開かれた議会に  
なると思う。



塩澤 政博さん

以前に比べ、議会  
だよりに目を通す  
ようになった。い  
ろんな社会変化が  
ある中で一早く事  
を悟り、一歩先行  
く昭和町であつて  
ほしい。



植竹 由美さん

男女共同参画を推  
進する今、女性議  
員を増やし、女性  
や子ども、お年寄  
りの立場が理解さ  
れた、より良い町  
づくりを願いたい。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む皆様にご意見・ご感想を伺いました。

築き・気付きの心を



清水新居区

田辺千恵子さん

昭和町に越してきて14年になります。以前は甲府市に住んでいました。ちょうど子育ての大変な時期でもあり、一人で悩み、子どもと二人つきりで泣いたり、寂しい思いもしたことを覚えていています。昭和町は子育て支援事業等、地域でのサポート体制が充実しています。私も2回ほど、生まれて2、3カ月の赤ちゃんを持つお母さんのところを訪問し、抱かせていただきました。こちらまで幸せな気持ちになりました。
昨年度、組長、愛育班等にかかわったことで、今まで当たり前に思っていたことが、そのかげに多くの皆さんの努力がなされていることを知りました。忙しい世の中、人間関係も希薄になりがち。なるべくならかわらないほうにいたいと思ってしまうのですが、私たちは一人では弱くもろいものです。互いに育みながらかわることで、生まれる温かい心と人間関係を大切にし、それぞれの形で地域の働きに参加して、互いに支え合う心を築いていけたらと思います。そして、私自身もこれからは自分のできる小さな奉仕をしていきたいと思えます。

地域の絆を大切に



河西区

土井

孝さん

子どもの成長に伴い、アパート住まいでは手狭になり、新築することになりました。まず、場所の選択から始め、通勤や子どもの通園・通学、商業施設の利便性を考え、人気NO.1の昭和町常永土地区画整理地内を物色し、現在の河西区に決定して移り住みました。
しかし、隣近所も新しい人たちがばかりで、組を作ることからスタートしました。河西区の素晴らしいことは、区民の皆さんが私たち新住民を温かく受け入れてくれる体制づくりや、役員さんが私たちの組を作るために、真剣に指導してくれ、大変感謝しています。
組長を経験する中で、区の行事が非常に多く大変でしたが、地域の方々のアドバイ스가あり、抵抗なく溶け込めました。
どうすれば地域に貢献できるか考えたところ、新年拜賀式や防災訓練、運動会でのデモンストラーションを見て、消防団活動に感動しました。町民が「安心・安全」に生活できていることも再認識し、第10部消防団に入団しました。
消防団活動や地域の活動を通して、地域の人との絆を大切にし、住み良い町づくりに微力ですが、努力していこうと考えています。

広報編集特別委員会

(5月20日)

あんぱち 岐阜県安八町議会視察受け入れ

安八町は伊勢湾臨海工業地帯、北陸圏、名古屋都市圏および近畿圏の接点に位置し、地理的条件に恵まれた工業適地。

研修では編集方針や互いの課題点等、活発な質疑応答が行われました。



議場にて記念撮影

- 広報編集委員会
委員長 石原 高明
副委員長 林 和仁
委員 河田 あけみ
河住 保茂
三井 克勇
深澤 猛

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

9月3日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(今澤・小林)

発行

山梨県昭和町議会
〒409-3880
TEL.055-275-8842(直通)
TEL.055-275-2111(代)
山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2 FAX.055-275-5250